

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		優良家庭等表彰事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	鍛野 文昭
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	野邑 仁美
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	国保年金班	(内線)	2138
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市国民健康保険健康表彰規程	
		国保	8	1	1	10362		成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	無受診世帯を表彰することによって健康意識の向上を図り医療費抑制につなげることを目的に平成12年度より実施。旧町時代は健康福祉祭時に表彰状、記念品を贈呈していたが、その後は国保の世帯から代表者を決め、来庁していただき町長が直接贈呈していた。広報紙にも同意を得た方について名前と行政区を掲載していたが、役場に取りに来ることに消極的な意見があったため、平成18年度から宅配にてカタログギフトに変えている。平成24年度より経費削減のため表彰状の送付を廃止している。近年、生活習慣病による重症化が医療費を圧迫しており、自覚症状がなくまま病院受診せずに重症化してしまうケースがあるため、平成26年度より単に医療を受けなかったというだけではなく、特定健康診査を受診した世帯を表彰規定に加えた。記念品の宅配時期は1月~2月とし、1月1日時点で国保資格を有し、かつ前年度の国保税の滞納がない世帯を対象とする。
【業務の流れ】	①前年度医療機関の受診状況を調べる。②受診がなかった国保世帯に国保税の滞納がないか、介護サービス受給の有無、特定健康診査の受診有無を調べる。③対象者に記念品を贈る。
【主な予算費目】	08保健事業費 01保健事業費 01保健衛生普及費 11需用費(消耗品費、印刷製本費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・市民から毎年楽しみに健康に留意しているという継続希望の意見と、このような物に使うより少しでも保険料を下げて欲しいという意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
対象者世帯に対し、記念品(ギフトカタログ)を一斉送付。		26年度と同じ	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:送付国保世帯	世帯		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
国保世帯		→ア:国保世帯	世帯
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
健康意識を向上させ、医療機関受診を抑制するため。		→ア:無受診世帯数	世帯
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
無受診世帯が増えることにより医療費抑制につなげる。			全体計画
			~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	世帯	250	220	300	75	100	100	100	100
	イ									
	イ									
②対象指標	ア	世帯	7,420	7,351	7,400	7,344	7,400	7,400	7,400	7,400
	イ									
③成果指標	ア	世帯	428	418	500	420	500	500	500	500
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	663	615	900	489	900	900	900
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	663	615	900	489	900	900	900	900
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0	1	4	1	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	0	150	70	20	70	70	70	70
	(B)人件費計	千円	0	597	278	79	278	278	278	278
トータルコスト(A)+(B)		千円	663	1,212	1,178	568	1,178	1,178	1,178	1,178

事務事業名	優良家庭等表彰事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 当初見込んでいた無受診世帯より、病院を受診された世帯が多くなったため	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 過去の実績からの推計で設定していたが、年によって変動があり見込むことが非常に困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 啓発等により健康意識が高まることにより、無受診世帯が増え向上する余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他には類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 表彰状だけ贈り、記念品を贈らなければ削減できる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 今現在必要最低限で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国保加入者全員を対象としており公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

啓発等によって健康意識の向上を図った場合でも、受診しなければならぬときはある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					